

# 入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 5 年 6 月 8 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産技術研究所南勢拠点長 鈴木 俊哉（公印省略）

## 1. 調達内容

(1) 調達件名 南伊豆庁舎海水取水設備清掃点検業務 一式

入札説明書による。

(2) 調達仕様

令和 5 年 12 月 25 日

(3) 履行期限

静岡県賀茂郡南伊豆町石廊崎 183-2

(4) 履行場所

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
南伊豆庁舎

(5) 入札方法

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

## 2. 競争参加資格

(1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成13年4月1日付け13水研第65号）第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。

(2) 令和4・5・6年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等契約」の業種「建物管理等各種保守管理」の資格保有者であること。

(3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づき指名停止を受けている者である場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づき指名停止を受けている期間中でないこと。

(4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者でないこと。

## 3. 入札説明書等の交付方法

競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等）の交付を受けること。

① 直接交付

三重県度会郡南伊勢町中津浜浦 422-1

国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所

南勢庁舎管理チーム

電話 0599-66-1850

FAX 0599-66-1962

② 宅配便着払いによる交付

任意書式に「南伊豆庁舎海水取水設備清掃点検業務入札説明書宅配便にて希望」と記入し、社名、担当者名、住所、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

③ メールによる交付

「南伊豆庁舎海水取水設備清掃点検業務入札説明書メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

4. 入札説明会の日時及び場所等

仕様書等に記載の仕様を以て入札の条件とする。また、入札説明会において、入札の条件に ilişkin質問があれば、説明会において答える。ただし、説明会において質問された事項については、入札説明書の記載を優先し、説明会での説明とは異なる場合がある。この場合、入札説明書の記載を優先する。入札説明書に記されていない事項については、本入札公告を参照する。入札説明書の記載と異なる場合は、本入札公告の記載を優先する。入札説明書に記されていない事項については、本入札公告を参照する。

5. 入札の日時及び場所等

(1) 入札の日時及び場所

令和5年7月6日 14時00分  
静岡県賀茂郡南伊豆町石廊崎183-2  
国立研究開発法人水産研究・教育機構  
南伊豆庁舎

(2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所

令和5年7月6日 12時00分  
3. ①に同じ。

6. その他

(1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨。

(2) 入札保証金及び契約保証金

免除。

(3) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。

(4) 契約書作成の要否

要。

(5) 落札者の決定方法

予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

(6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。

(7) 詳細は入札説明書による。

7. 契約に係る情報の公表

(1) 公表の対象となる契約先

① 当機構において再就職して当機構との間を取り扱うこととなる者が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること  
② 当機構との間を取り扱うこととなる者が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること

なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター（「役員、顧問等」）に限らず、経営や業務運営に携わる者等を含む。

※注1 「役員、顧問等」は、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター（「役員、顧問等」）に限らず、経営や業務運営に携わる者等を含む。

※注2 総売上高又は事業収入の3分の1以上を占める当機構との間を取り扱うこととなる者は、当該契約締結日の直近の財務諸表に掲げる取引の実績による。

(2) 公表する情報

上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名義及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名

① 当機構における最終職名  
② 当機構との間の取引高  
③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれか  
④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当機構に提供していただく情報

① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当

機構における最終職名等)

② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内(4月に締結した契約については原則として93日以内)

(5) その他

当機構ホームページ(契約に関する情報)に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認ください。また、所定の情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了解願います。

## 8. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」(平成19年2月15日文部科学大臣決定)に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」(URL: [http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge\\_request/note\\_contract.pdf](http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge_request/note_contract.pdf))をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類(①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書)は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

# 業 務 仕 様 書

1. 件 名 南伊豆庁舎海水取水設備清掃点検業務
2. 業務目的 本業務は、南伊豆庁舎の海水取水設備及び関連設備の清掃・点検を実施し、海水の安定供給機能を維持することを目的とする。
3. 業務場所 静岡県賀茂郡南伊豆町石廊崎 183-2  
国立研究開発法人水産研究・教育機構 南伊豆庁舎
4. 履行期限 令和 5年12月25日  
\*清掃点検実施期間：① 契約締結日～令和5年8月25日  
② 令和5年11月6日～令和5年12月25日
5. 業務内容
  - 1) 海水取水管内の清掃・点検
    - ・潜水作業により、取水管の着水槽側の付着物除去や清掃を行い、目視観察により不具合箇所の点検を行うこと。
    - ・取水管内部の清掃作業はピグ洗浄工法により着水槽側から取水口に向けてポリピグ（クリスクロス 450A）を圧送して行い、同作業を2回実施すること。また、同作業に必要なポリピグ、ランチャーは当所の保有物を使用すること。
  - 2) 取水管先端の清掃・点検
    - ・潜水作業により、取水管先端及び点検口の付着物除去や清掃を行い、目視観察により腐食劣化及び不具合箇所がないか点検を行うこと。
  - 3) 着水槽の清掃・点検
    - ・潜水土により、着水槽内壁及び底面を点検するとともに、槽内に堆積している砂泥等を水中ポンプにより排出し、内部関連設備の付着物を除去すること。
  - 4) 浮標ブイ一式取替え
    - ・既設浮標ブイについて、同等品に交換すること。
    - ・交換後は、不具合がないか点検すること。
  - 5) 海水自吸タンクの内部清掃
    - ・ポンプ棟内に設置されている海水自吸タンクの内部およびスクリーンの付着物を除去すること。方法は、自吸タンク4台（別添図）の上部のボルトナットを外してスクリーン2個を取りだし、スクリーンおよび自吸タンク内部をブラシ等で清掃すること。

## 6. 特記事項

- 1) 清掃点検については履行期限の①及び②のいずれかの期間で実施すること。
- 2) 取水管内の清掃作業中に、請負業者の責に寄るポリピグの詰まり事故等が発生した場合の費用については請負業者が負担すること。
- 3) 取水管内清掃のために海水取水を停止する時間は9:00～16:00までの最大7時間とし、他の時間は海水取水状態を維持すること。
- 4) 本業務の着手に当たり、事前に作業計画及び作業工程表を提出すること。
- 5) 着水槽までの進入路（幅 5.5m）が狭いため、使用する重機等の大きさには留意すること。また、取水管着水槽側のベント管及びランチャーの脱着の際には、クレーン用の作業口（縦 1m×横 2.4m）が小さいため、作業の際には留意すること。
- 6) 本業務により発生した廃材及び清掃後の汚泥等は場内引渡しとすること。
- 7) 本業務完了後に竣工報告書及び関連資料を提出すること。
- 8) 本業務の実施に当たり、事前に関係機関（海上保安庁及び伊豆漁業協同組合）に届出を行うこと。

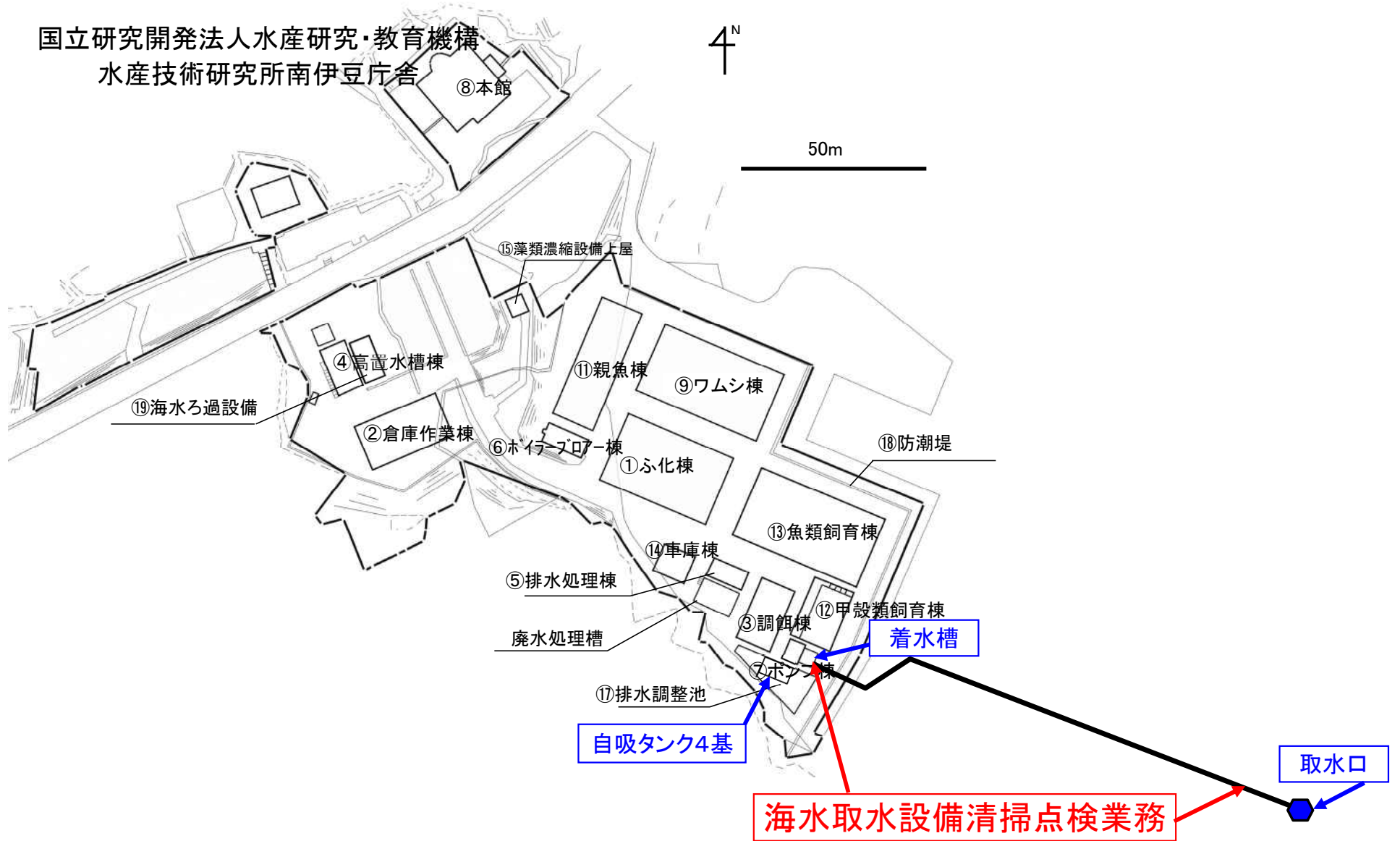
## 7. その他

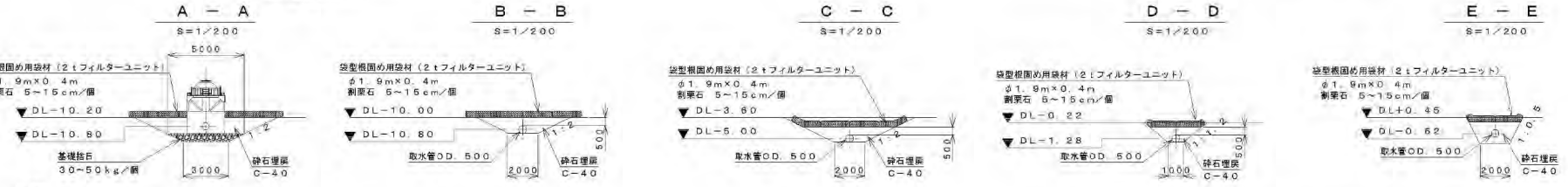
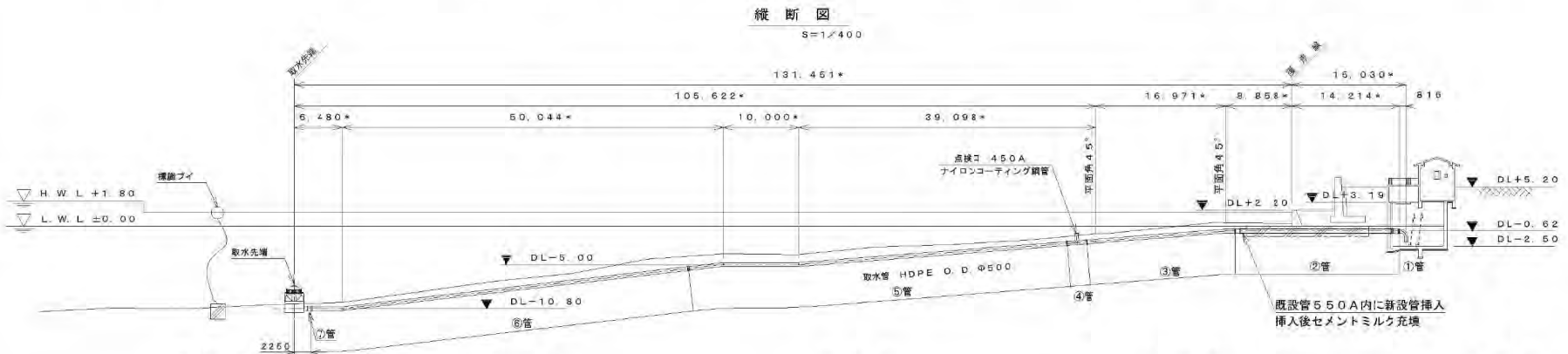
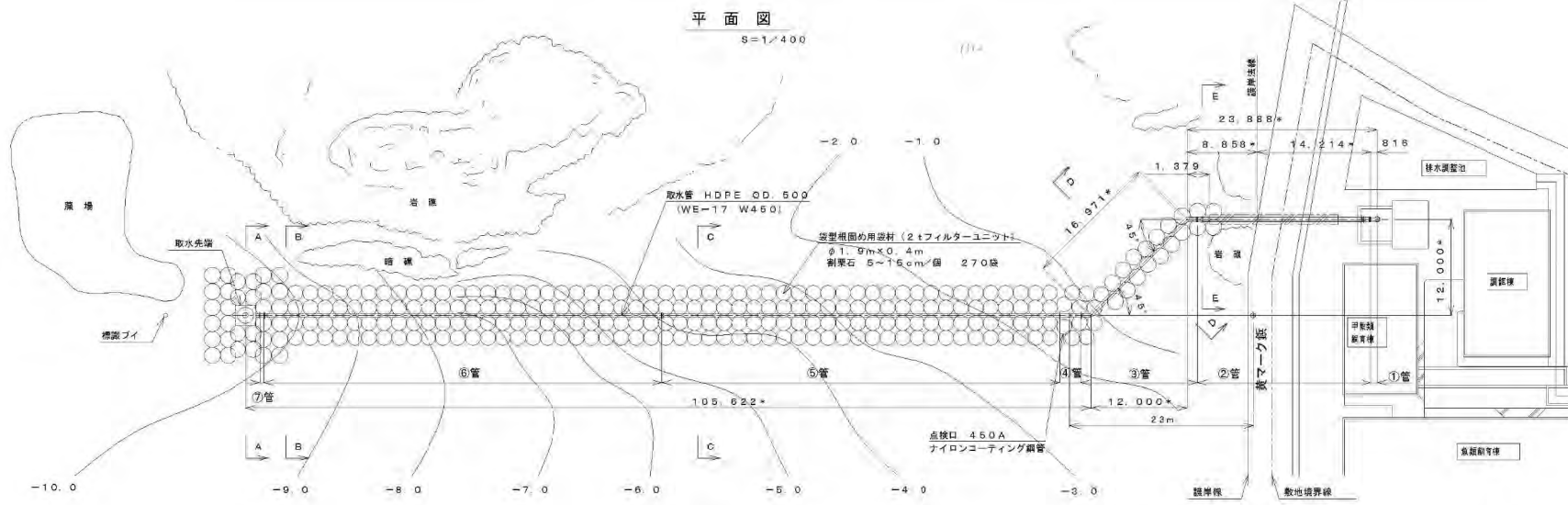
詳細については担当職員の指示に従うこと。

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産技術研究所南伊豆庁舎

4<sup>N</sup>

50m

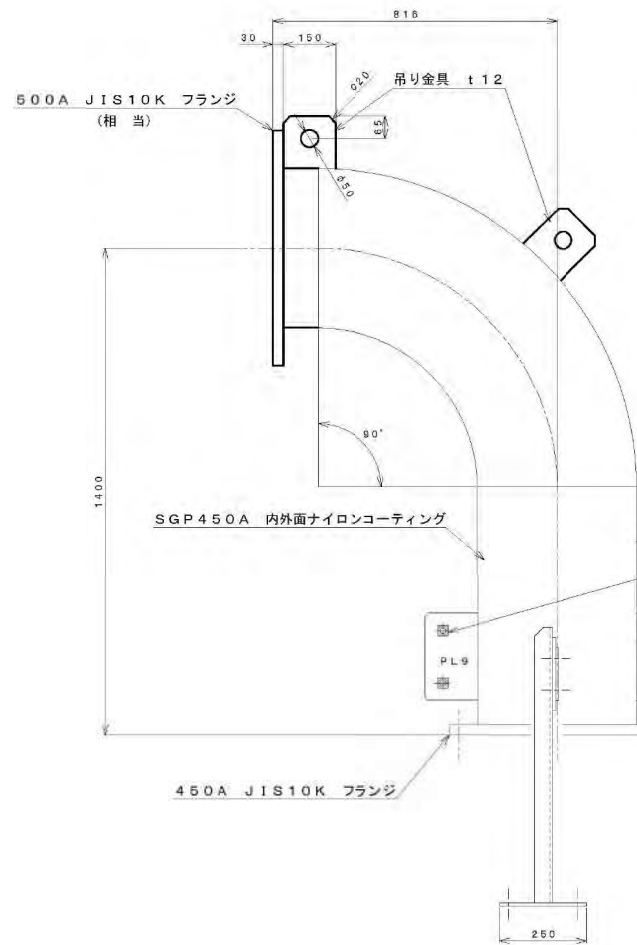




注記)

- 1) 水深は、設計回数値を示す。
- 2) \*付数値は、設計回数値を示す。  
(既設管撤去し、同ルートに取水管を撤付)

増養殖研究所南伊豆庁舎海水取水管更新工事		
図名	取水管縦断図	図尺
3	2013.08	1/400, 2/200

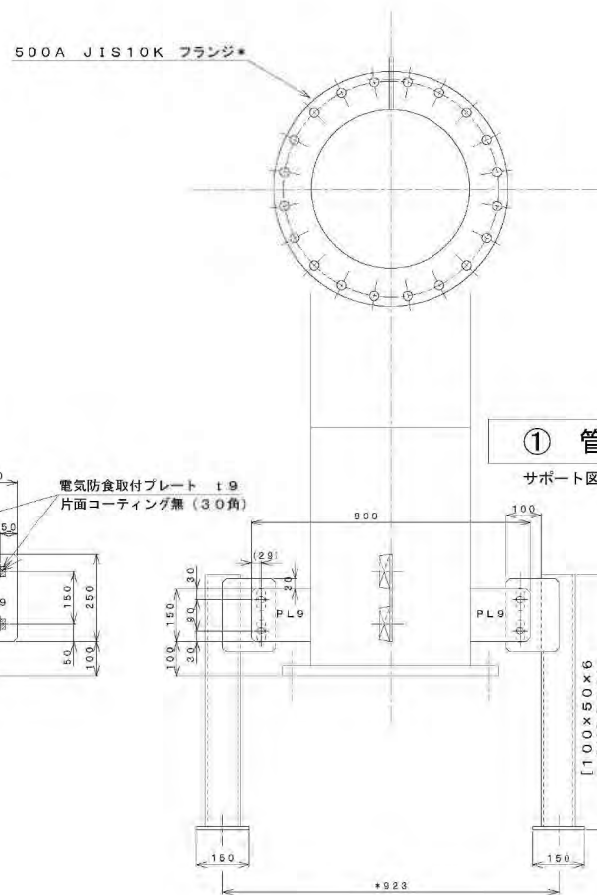


500A JIS10K フランジ\*

電気防食取付プレート t9  
片面コーティング無 (30角)

2-φ21キリ  
M16ケミカルアンカー

[100×50×6]

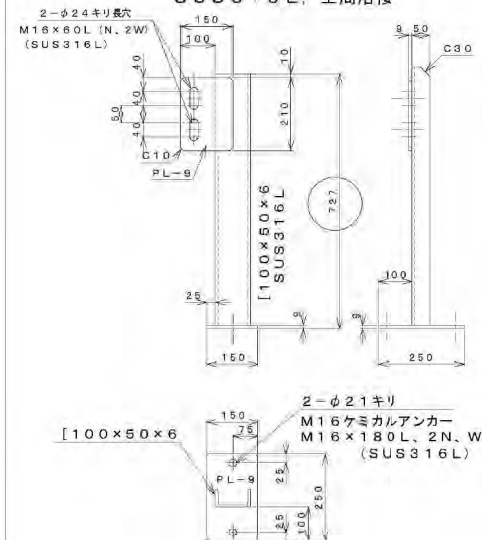


① 管

サポート図

①管サポート図 (現場合せ)

製作数: 対象2本/1組  
SUS316L, 全周溶接



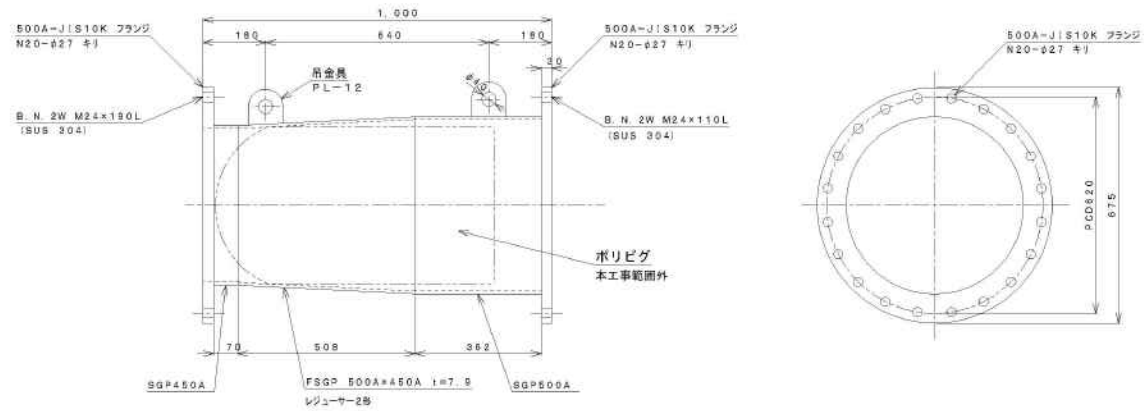
増養殖研究所南伊豆庁舎海水取水管更新工事

2018.05	付属品図2	図	1/11
8			



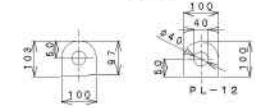
### ランチャー

S=1/10  
 材質: SS400, SGP, FSGP  
 塗装: 非特定化学物質型タールエポキシ樹脂塗装0.4mm以上  
 製作数: 1組  
 重量: 約157kg



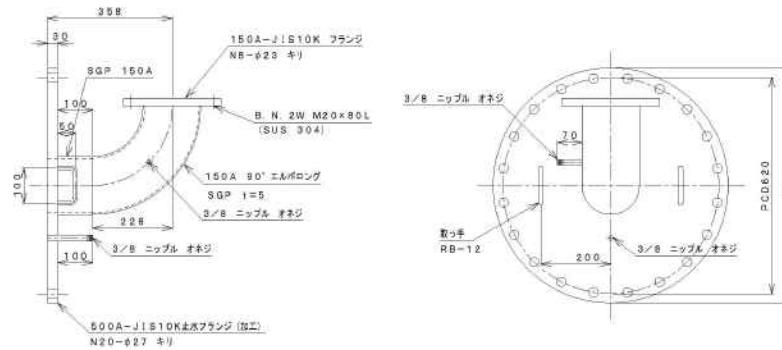
### 吊金具

PL-12



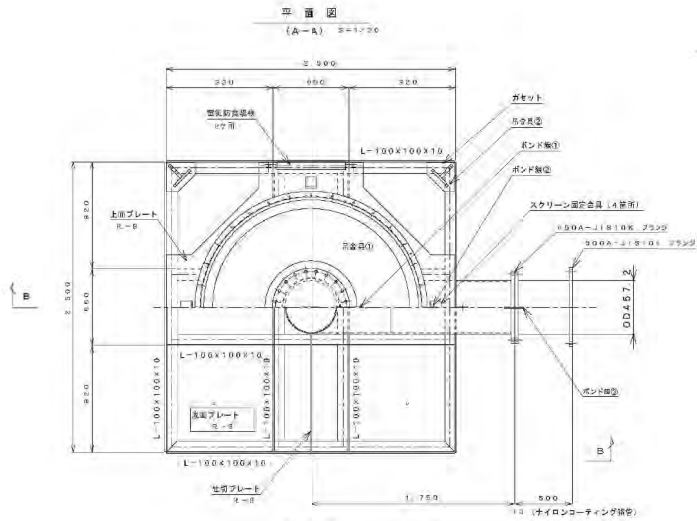
### ランチャー蓋

S=1/10  
 材質: SS400, SGP, FSGP  
 塗装: 非特定化学物質型タールエポキシ樹脂塗装0.4mm以上  
 製作数: 1枚  
 重量: 約96kg

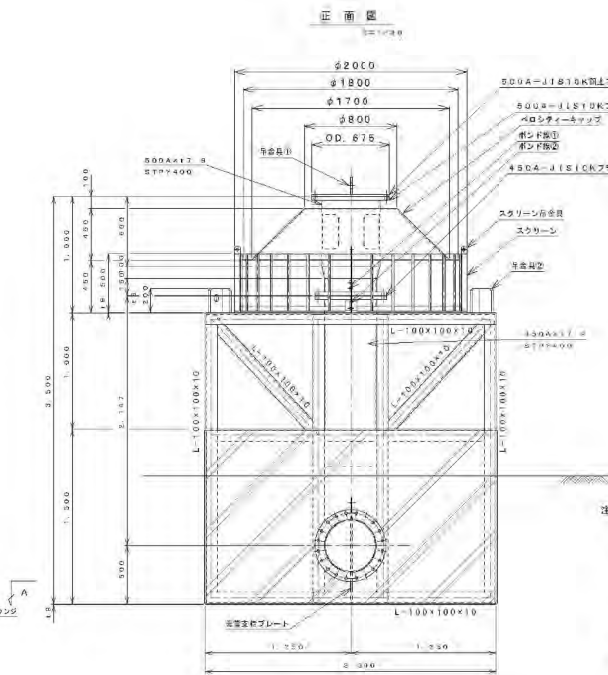
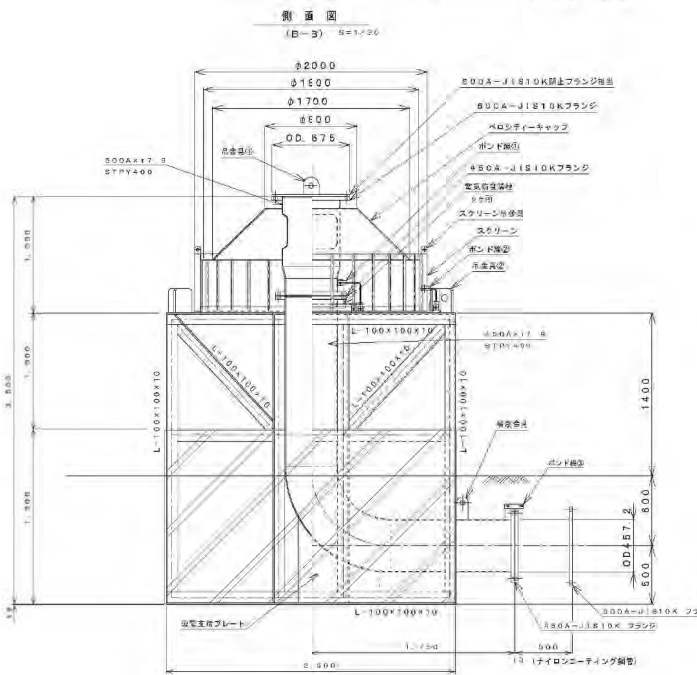
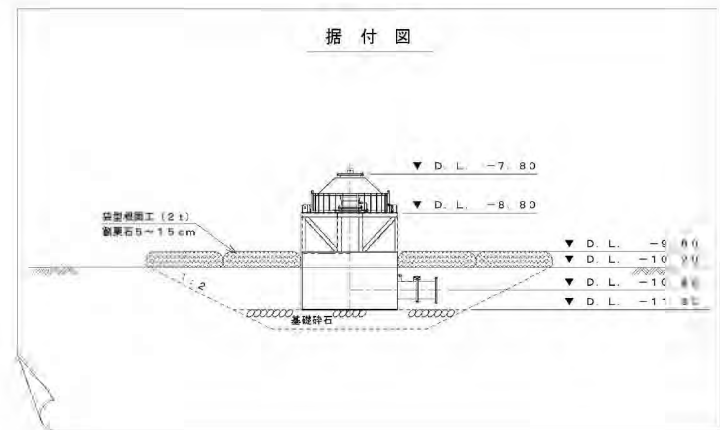


増養殖研究所南伊豆庁舎海水取水管更新工事

図番	部品名	日付	図尺
9	付属品3 (ランチャー)	2019.08	A2 1/10



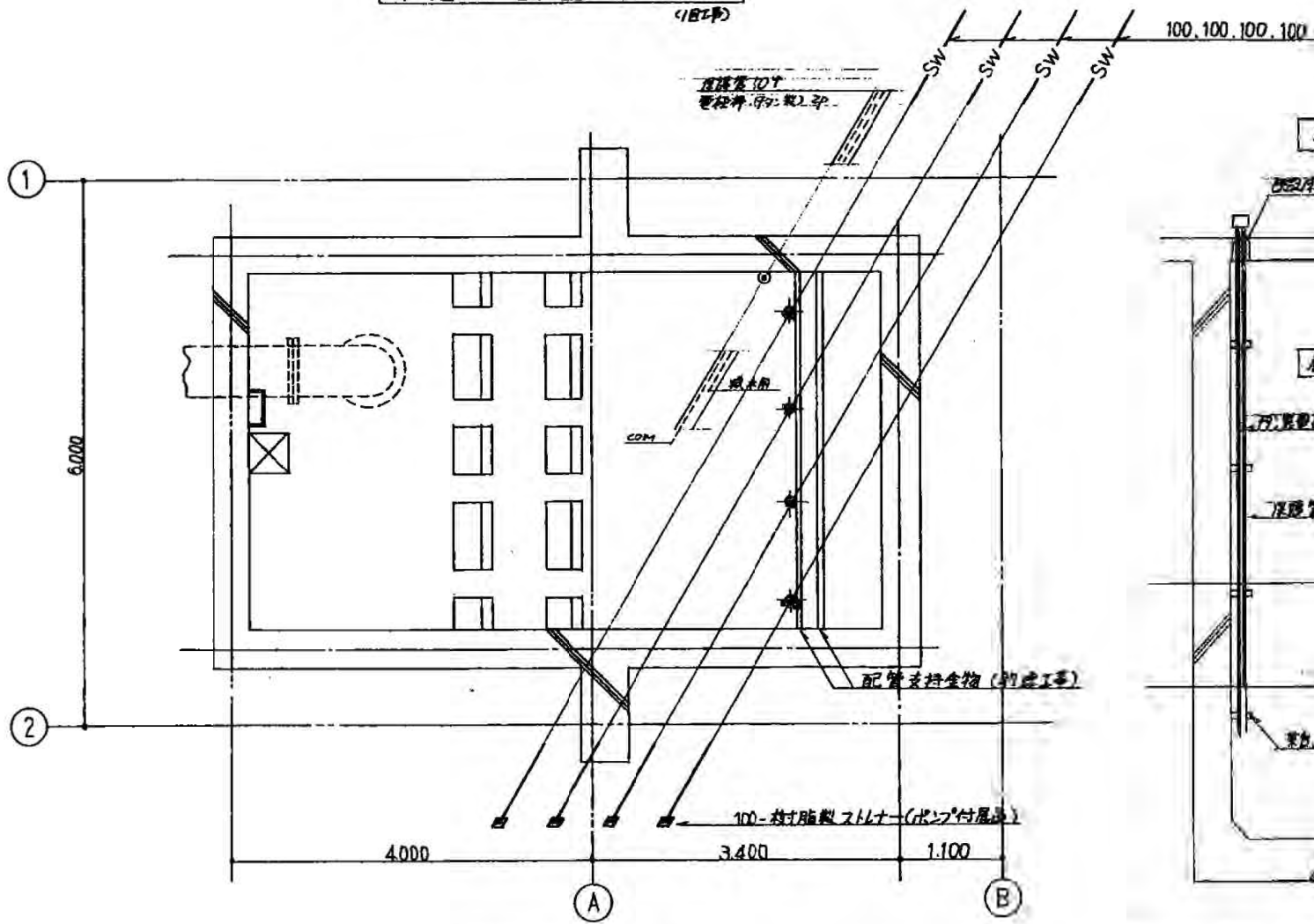
取水先端一般図



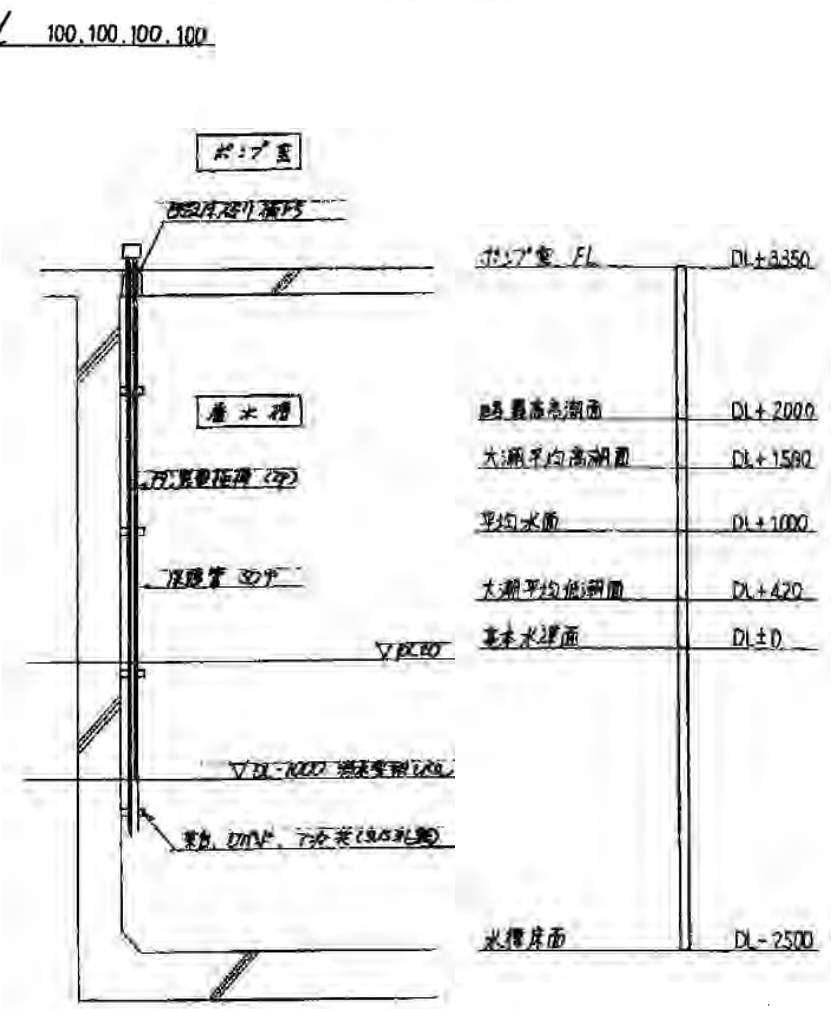
- 注記)
1. 材質  
特記なき場合 SS400
  2. 塗装  
非特定化学物質型タールエポキシ樹脂塗膜 0.4mm 以上  
フランジ付属品: 非特定化学物質型タールエポキシ樹脂塗膜 2層塗り
  3. 電気防食棒  
電気防食棒取付
  4. 鋼材のコーナー部は塗装に支障のないよう全て面取りする
  5. 寸法は全て仕上がり寸法とする
  6. コンクリート  $f_c = 16 \text{ N/mm}^2$

環境研究所南伊豆庁舎海水取水管更新工事			
図番	取水先端一般図	図尺	縮尺 A2 1/30
5		2013.15	

1階平面図 S: 1/50  
(1/27表)

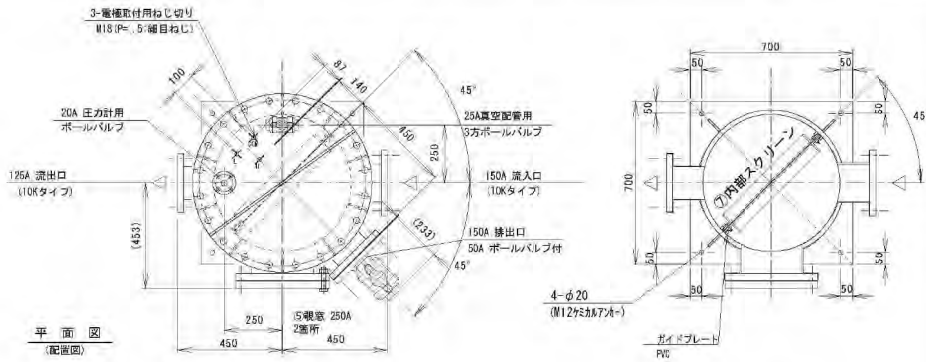


着水槽平面図 S: 1/50  
(1/27表)

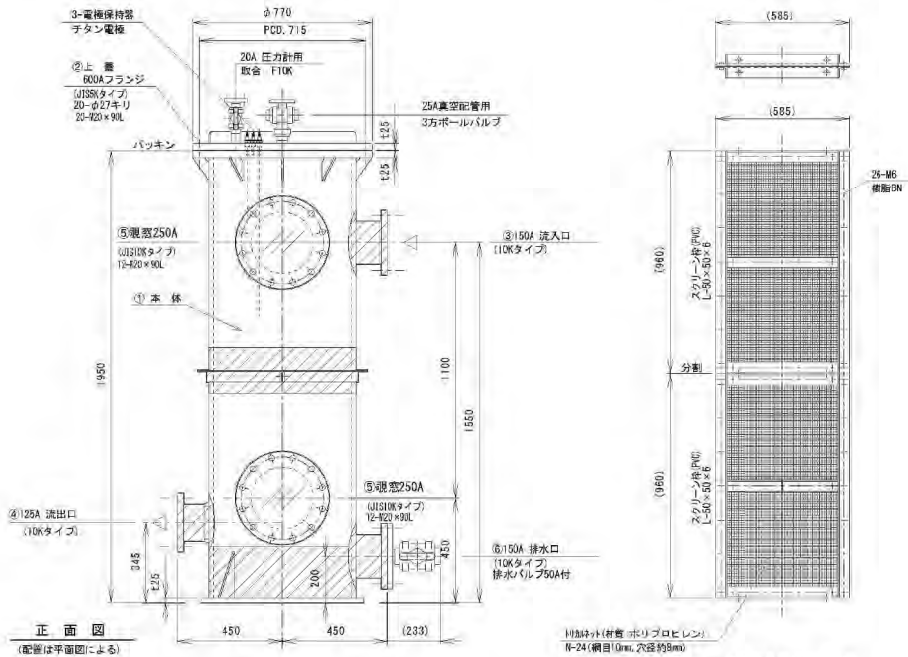


着水槽 縦断図 S: 1/50  
(1/27表)

自吸タンク S=1/15



平面図  
(配置図)

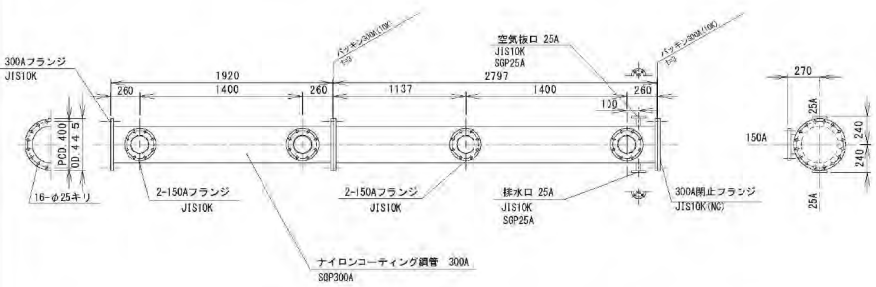


正面図  
(配置は平面図による)

記号	名称	サイズ・仕様等	数量	備考
(7)	内部スクリーン	枠:PVC、スクリーン:PP(φ24相当)	1	分製備品(2分製)
(6)	排水口	150A (10Kタイプ)PVC	1	止水フタ50mm径付
(5)	視窓	250A (10Kタイプ)PVC	2	透明フタ付(15)
(4)	流出口	125A (10Kタイプ)PVC	1	
(3)	流入口	150A (10Kタイプ)PVC	1	
(2)	上蓋	600A (5Kタイプ)PVC	1	
	真空配管口	25A (3方ボールバルブ)TS	1	(防着しボート)
	ゲージ取付口	20A (ボールバルブ) (片フランジ)10K	1	
	電機保持器用ネジ切り	M18 (P=5) (組むねじ)	3	電機・ボタン
(1)	本体	VUR00A (PVC) (樹脂貯槽)	1	M12(2ヶ)ミカルアンカー

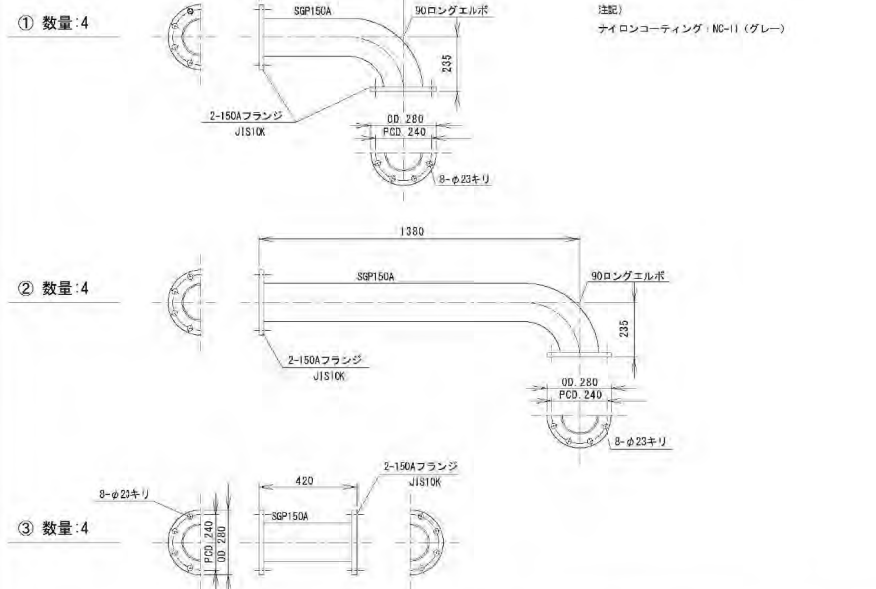
注記  
1) 寸法( )は参考寸法とする。  
2) 妻部PP樹脂(4ply)

取水ヘッダー S=1/30



注記  
ナイロンコーティング: NC-11 (グレー)

ナイロンコーティング鋼管(ポンプサクション用) S=1/15



注記  
ナイロンコーティング: NC-11 (グレー)

図面番号	工事名	備考	版数
M-13	増養殖研究所西伊豆庁舎機械設備新設その他工事		1/30
作成	2014.3月		

# 既存浮標ブイ

品名	寸法・規格	数量
浮標ブイ	φ330mm オレンジ色	1個
中間ブイ	φ300mm	1個
クレモナロープ	φ20mm×15m (両端コース)	1本
クレモナロープ	φ20mm×5m (両端コース)	1本
接続金物	φ25mm 捻込みシャックル	1個
接続金物	φ19mm 捻込みシャックル	3個

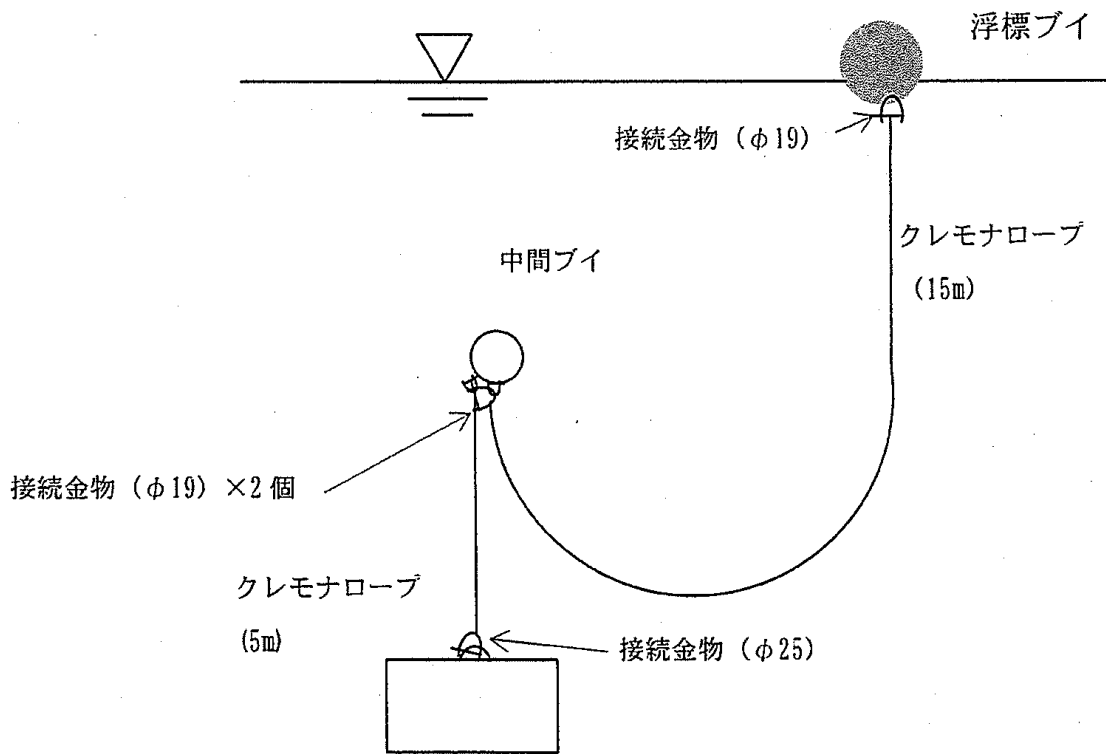


図-11：浮標ブイ取付状況図